

平成 21 年度科学研究費補助金実績報告書（研究実績報告書）

1. 機関番号 3 2 6 9 2 2. 研究機関名 東京工科大学
3. 研究種目名 若手研究 (B) 4. 研究期間 平成 20 年度 ～ 平成 22 年度
5. 課題番号 2 0 7 3 0 3 5 6
6. 研究課題名 サブカルチャー集団による地域社会への参加に関する民族誌的研究

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
4 0 3 2 9 1 7 3	フカガ ナ オオヤマ マサヒコ 大山 昌彦	メディア学部	准教授

8. 研究分担者(所属研究機関名については、研究代表者の所属研究機関と異なる場合のみ記入すること。)

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
	フカガ ナ		

9. 研究実績の概要

下欄には、当該年度に実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、交付申請書に記載した「研究の目的」、「研究実施計画」に照らし、600字～800字で、できるだけ分かりやすく記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。

本研究の目的は、サブカルチャー集団の地域社会への参加の様態を、茨城県中央部で活動するロックンロールと呼ばれるサブカルチャー的活動を行う集団を対象に、活動場所の獲得そしてその維持に関して地域社会との交渉を通じた社会参加へのプロセス、および活動を通じた下位文化的なネットワークの形成、そしてそれ以外の社会生活との関連を明らかにすることである。本研究では、主にフィールドワークを中心とした現地調査、および新聞・雑誌のテキスト分析を併用し、データの収集と分析を行うものである。

平成21年度は、20年度から発展し、ノンエリート若者下位文化とロックンロールの歴史に関する文献調査と、茨城県中央部のロックンロール・チームへのフィールドワークを実施した。文献調査は主に1960年代を中心に雑誌および新聞を対象に行った。文献調査では、アメリカ文化の受容の主体としてノンエリート若者は、アメリカナイズされた成功物語の主演として賞賛される一方で「野蛮」な文化を消費する主体として非難されていたことが明らかになった。

フィールドワークでは、ロックンロール・チームの中には、次第に活動が困難を来す状況にあることが確認された。こうしたチームは主にメンバーが狭い地域の出身者で結成されていることが特徴的で、少年時代に形成された地元の「先輩後輩」を背景に、年間を通じた活動を希望するメンバーと暴走族時代の夏季限定の活動を希望するメンバーとの間に齟齬を生まれ、チームの維持が困難になっている。また、ロックンローラーがパフォーマンスを行う祭りの主催者（地元商店会、水戸市観光協会）側への聞き取り調査で、ロックンローラーの活動に対して次第に好意的な理解者が出てきた反面、暴走族がロックンロールを踊っていた時代に生じたネガティブなイメージから、ロックンローラーを排除する層が根強く存在していることが明らかになった。ロックンローラーは、活動を通じて主催者側の理解者を増やすため、一層のルールの遵守と意志の統一を図る方針をチーム間のミーティングを通じて打ち出した。

10. キーワード

- (1) サブカルチャー集団 (2) 社会参加 (3) 地域社会
- (4) 公共空間 (5) 文化関係資本 (6)
- (7) (8)

(裏面に続く)

11. 研究発表（平成21年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計 (0) 件 うち査読付論文 計 (0) 件

著者名	論文標題			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
			■ ■ ■	

著者名	論文標題			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
			■ ■ ■	

著者名	論文標題			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
			■ ■ ■	

〔学会発表〕 計 (1) 件 うち招待講演 計 (1) 件

発表者名	発表標題		
大山昌彦	暴走族・社会人・ロックンローラー		
学会等名	発表年月日	発表場所	
文化社会学研究会	2009/06/27	早稲田大学	

〔図書〕 計 (1) 件

著者名	出版社		
岡井崇之編著、森山達矢、小林義寛、小林正幸、大山昌彦、鶴田友美、ばー・ポルドー	風塵社		
書名	発行年	総ページ数	
『レスル・カルチャー』（第5章「「ヤンキー」からプロボクサーへ」担当）	2 0 0 1 0	2 7 3	

12. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕 計 (0) 件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

〔取得〕 計 (0) 件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別

13. 備考

※ 研究者又は所属研究機関が作成した研究内容又は研究成果に関するwebページがある場合は、URLを記載すること。

--